

## (別紙2) 《連携事業》

## 3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

「食のみやこ熊本」台湾への食の販路開拓事業（B事業）

【目的（課題認識、方向性、目標、事業実施計画等）】

本事業の目的は、熊本県の食品産業が台湾市場への販路拡大を効果的に行うために、現地の市場の特性の把握や輸出に関する課題を解決する仕組みを構築し、持続可能なビジネスモデルを構築することである。

具体的には、台湾市場に適応した商品開発を推進するため、現地の消費者嗜好や文化、競合商品の特性、栄養成分やパッケージデザインのニーズを把握する市場調査を実施し、この調査を通じて、県内食品関連事業者の商品改良やブランディングに活用できる具体的な指針を提供する。また、台湾市場を熟知した専門家や台湾・熊本の支援機関等との連携を強化し、マーケティング支援を行う。

また、成分分析、関税、物流、商標登録、輸出入手続など、台湾市場への輸出に不可欠な具体的手順を明確化し、県内食品関連事業者が直面する手続きの複雑さの解消に寄与する。特に、県内事業者にとって負担の大きい輸出関連の書類作成や分析については、日本と台湾双方の文化や商習慣に精通した専門家や支援機関等のサポート体制を整備する。

さらに、域内外の関係者や現地支援機関との連携の場を設定することで、県内食品関連事業者が、台湾市場進出に向けた効果的な事業計画を策定できるようになる等、熊本の食品産業が持つ強みを最大限に生かした課題解決の仕組みを構築したい。これらの取組により、台湾市場における熊本の食品ブランドの認知度を高め、県内食品関連事業者の新規市場参入を支援するとともに、県全体の経済活性化に繋がりたいと考えている。

なお、本提案事業は、県がR2年12月に策定した「熊本県産業成長ビジョン」において重点的な取組として位置付けられている、食品や医療、農業などライフサイエンス分野における新産業創出や、海外展開・連携の促進による機会の拡大（新たな市場における販路開拓の支援や台湾等の企業団体との交流機会の提供）の方向性とも合致している。加えて、本事業を遂行することで、同ビジョンの重点指標である「海外企業との商談件数 250 件（R12年）」に貢献できるものとする。

実施にあたっては、熊本県や熊本県産業技術センター、TQFA、KBCC等とスクラムを組み、熊本・台湾の総力で地域課題の解決のための事業にあたることを想定している。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

熊本県の加工食品事業者が台湾市場への販路拡大を効果的に行うために、現地の市場の特性の把握や輸出に関する課題を解決する仕組みを構築し、持続可能なビジネスモデルを構築することを目的に、令和6年度に、当財団が事務局を務める「九州地域バイオクラスター推進協議会（KBCC）」とMOUを締結した「台湾優良食品発展協会（TQFA）」と連携し、大阪万博での市場調査、食品機能性に関する日台交流ミッション等を実施した。

## ○主な成果

## 1) 大阪万博「Tech World」パビリオン、日香食品での調査

実施日 : 令和7年4月16日

場所 : 大阪市此花区夢洲

結果 : 台湾では「伝統、自然の食感、味を大切に、身体に良い」商品が受け入れられる。ただどの様に身体に良いのかと言うメカニズムについての説明が無い事が台湾の弱点。「素材、基材含めての特性、良さ」「商品ストーリー」「身体に良い根拠」「適正な価格」を考慮した商品開発が必要。メカニズム追及の弱点から日本の機能性表示食品制度に高い興味を示している。



2) 健康、機能性食品ビジネス連携セミナー&商談会を開催

実施日 : 令和7年6月24日

場所 : TWTC 台北世界貿易センター展覧会場2階

参加者 : 日本企業7社(日本) 台湾27社85名参加

実施内容 : ①熊本県立大学教授 友寄博子先生 講演

「日本の機能性食品制度とは?その仕組みと背景を解説」

②重岡 雅博次長 講演

「九州地域バイオクラスター推進協議会の活動内容」

③参加企業7社での企業内容・製品紹介プレゼン

④参加企業7社による試食&商談会

結果 : 名刺交換数79 商談数28 見積依頼4

E社と桂冠社で具体的な商談も生まれた。

	支援事業者	名刺交換数	商談数	見積依頼
1	A社	11	0	0
2	B社	19	14	2
3	C社	18	10	0
4	D社	17	3	2
5	E社	5	1	0
6	F社	4	0	0
7	G社	5	0	0





### 3) FOOD TAIPEI 2025

実施日 : 令和7年6月25日～27日(展示会は28日迄開催)  
 場所 : 台北南港展覧会2号館4階 TQFAブースに1小間使用  
 結果 : 4社で具体的商談が実施された。

	支援事業者	自社開拓	TQFA 紹介	その他紹介
1	C社			3
2	D社	2		
3	E社		1	
4	G社		1	

※その他紹介：株式会社ブライト・インターナショナル様による紹介

※添付1「FOODTAIPEI&交流商談会」アンケート参照



### 4) 台湾食品薬物管理署 (TFDA) との意見交換

実施日 : 令和7年6月26日(木)  
 場所 : 台北市南港区 TFDA  
 参加者 : 田中 一成様 (KBCC会長)  
 友寄 博子様 (熊本県立大学教授)  
 重岡 雅博次長

TFDA : 局長・部長(組長)、課長(科長)7名

TQFA : 周理事長、陳所長

内容 : 台湾で機能性表示食品の法整備、仕組みを構築していくための相談、日本での法整備、取り組み方、認証方法、現状についての質問に対してアドバイスを行った。

※添付2(九州×台湾)健康・機能性食品ビジネス連携セミナー・商談会 検討会 参照



5) TQFA訪日ミッション

実施日 : 令和7年8月4日(月)～6日(水)

参加者 : TQFA事務局6名及び台湾企業15社24名

	8月4日(月)	8月5日(火)	8月6日(水)
AM	台湾→熊本着	② ビプレス 熊本セミナー&交流会	④ 崇城大学
PM	① 西田精麦	ビプレス 交流会 ③ 鶴屋百貨店	⑤ 東洋新薬熊本工場 熊本発→羽田

① 西田精麦株式会社

実施日 : 令和7年8月4日(月) 13:30～15:00

場所 : 西田精麦株式会社 (八代市新港町 2-3-4)

実施内容 : ○西田精麦事業説明、工場見学、意見交換



② 台湾熊本食品産業連携セミナー&交流会【於 熊本】

実施日 : 令和7年8月5日(火) 10:00～15:00

場所 : 熊本市 (熊日倶楽部、びぶれすイノベーションスタジオ)

参加者 : 県内企業など 44名

熊本県、台北駐福岡弁事所、台湾貿易投資センター等 16名

実施内容 : ○TQFA、台湾企業3社の講演

○台湾企業14社の企業内容・製品紹介プレゼン

○台湾企業14社による試食&商談会

結果 : 台湾企業満足度 82%

※添付3 台湾熊本食品産業連携セミナー&交流会 参照

※添付4 2025 訪日ミッション結果報告(熊本地域) 参照





### ③ 鶴屋百貨店

実施日 : 令和 8 年 8 月 5 日 (火) 15 : 30 ~ 17 : 00

場所 : 鶴屋百貨店 (熊本市中央区手取本町 6 番 1 号)

参加者 : 鶴屋百貨店 取締役 濱坂 剛裕様 他合計 6 名

実施内容 : ○鶴屋百貨店グループ含めての事業内容の説明。意見交換を実施  
 ○TQFA 周理事長、参画事業者より商品取り扱い、商取引に関する積極的質問が寄せられた。海外展開担当役員の岩下様と濱坂様よりこれまでの台湾フェアの写真等を映写しながら、TSMC、台湾との友好性を考慮しながらも継続してきた台湾での売れ筋商品についての販売実績が残念ながらまったく採算ベースに合っていない現状の報告がなされた。TQFA 会員は台湾食品業界での上位企業が多く日本での販売状況に困惑した様子が伺えた。しかし課題についてどの様に改善していくかを双方しっかりと議論しあいながら前向きに取り組みましょう。と言う鶴屋側からの提案に安堵し終了した。



### ④ 崇城大学

実施日 : 令和 7 年 8 月 6 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00

場所 : 崇城大学 (熊本市西区池田 4-22-1)

実施内容 : ○崇城大学学部紹介、講演

○講演者 : 崇城大学生物生命学部生物生命学科 教授 西園 祥子様  
 「日本の機能性表示食品制度の概要と産学連携による商品開発」



⑤ 東洋新薬熊本工場

実施日 : 令和7年8月6日(水) 14:00~15:00

場所 : 東洋新薬熊本工場(菊池郡大津町大字高尾野 272-5)

参加者 : 工場長 上原 裕一様 他合計5名

実施内容 : ○事業内容紹介、工場見学、意見交換

○機能性表示食品開発力では九州一の実績を誇る企業と言う事もあり、台湾企業から素材について、加工技術について等多くの質問があった。



結果 : 西田精麦様、崇城大学様、東洋新薬様等機能性表示食品に関与する企業を中心として対応を図った事により台湾企業には好評であったと言える。滞在期間中に崇城大学と東洋新薬に対して分析、商品開発についての相談を受ける事になった。一方で鶴屋での台湾商品に関する生活者の反応評価に課題があることが示された事は落胆的ではあったが、乗り越えないといけないハードルである事を理解していただけたと判断する。今回は5日の商談会で活発に事業紹介、商品紹介、名刺交換が実施された事が今後に結びついて来ると思われる。台湾G社からの依頼を受け崇城大学西園先生により機能性表示食品取得を目指し2026年3月よりヒト試験を開始した。

6) 「FOODX JAPAN 2026 (KBCC&HABB&TQFA 会議、日台交流会)」

実施日 : 令和8年3月11日(水)~13日(金)

場所 : 東京ビックサイト(東京都江東区有明 3-11-1)

参加者 : TQFA事務局5名 TQFA会員29社

北海道バイオ工業 事務局長1名

九州地域バイオクラスター推進協議会 4名

九州地域バイオクラスター推進協議会会員 4社出展 1社参加

実施内容 : ○TQFA周理事長、陳所長、李様にKBCC会員企業4社

(出展ブース)を紹介(3/11)

○TQFA周理事長&九州ファーム太田社長 意見交換(3/11)

○セミナー聴講(3/12)

演題「台湾市場を読み解く:食品安全認証で切り開く海外市場  
—台湾・日本の連携—」

講演者「TQFA駐日代表 陳英顕様 JFSM理事長 小谷雅彦様」

○KBCC&HABB&TQFA三者会議(3/12)

参加者KBCC:田中会長、池田マネージャー、宮部室長、長濱

HABB:三浦事務局長

TQFA:周理事長、陳所長、李様

議案「KBCCおよびHABBとの協力構想について

「6/22 日台協力会議の開催」「6/23 セミナー&商談会の開催」

「6/24~27 FOOD TAIPEI ブース使用による参加」

○日台交流会 (3/13)

- 1) TQFA周理事長、陳所長&ホシサン、健成園様による意見交換
- 2) 陳所長による台湾パビリオン (203社出展) TQFA会員 29社を中心に企業紹介。商品紹介を含めて交流会を実施。会員 4社。

○ブライイトインターナショナル様からの販売戦略報告会 (3/13)

西田精麦様を例として市場調査及び販売戦略についての報告

## FOODEX JAPAN 2026

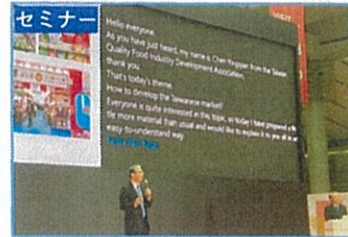
【2026年3月12日 (木)】

◆セミナー聴講

演題：「台湾市場を読み解く：食品安全認証で切り開く海外市場」  
TQFA 陳 英頭様 JFSM 小谷 雅紀様

◆KBCC&HABB&TQFA 三者会議

議案：「6/22, 23 KBCCおよびHABBとの協力構想について」  
参加：TQFA 周理事長、陳所長  
HABB 三浦事務局長  
KBCC 田中会長、池田マネージャー、宮部室長、長濱



## FOODEX JAPAN 2026



ホシサン株式会社

株式会社健成園

株式会社フンドーダイ

チョコー園油株式会社

株式会社九州ファーム

※周理事長、陳所長からの説明&意見交換。陳所長より台湾パビリオン出展企業の紹介を受ける。



結果 : 今回日本企業側はホシサン、フンドーダイ、健成園、九州ファーム (出展無し)、4社が台湾企業と交流したがこの4社共に常にアプローチを続ける企業の代表と言える。台湾輸出には世界一厳しいと言われる通関と言う最大の課題の壁がある。会議でその事について提言したが直接係わる訳でも無く認識はされていない。台湾側としては「一番は味・美味しさの違い、素材自体の認知度、ビジュアル」等の課題。日本、台湾ともにそれぞれの課題を抱えているが積極的に丁寧に課題解決に取り組む企業が一番の信頼を得られる。今回はTQFA幹部による双方の輸出の課題を再認識した事で今後意見交換をより現実的課題に落とし込み対応していく事とした。また台湾での食品表示、パッケージデザインについて等の輸出に不可欠なサ

ポートにも協力していただける事となった。

7) 台湾優良食品発展協会 (TQFA) & KBCC パートナープロジェクト会議  
TQFA & KBCC & 北海道バイオ工業会 (HABB) 地方機能性食品日台協力会議

実施日：

■パートナープロジェクト会議

- ・2025年01月06日(月) 第1回KBCC&TQFA会議
- ・2025年02月21日(金) 第2回KBCC&TQFA会議
- ・2025年04月30日(水) 第3回KBCC&TQFA会議
- ・2025年06月04日(水) 第4回KBCC&TQFA会議
- ・2025年07月04日(金) 第5回KBCC&TQFA事務局事前会議
- ・2025年07月15日(火) 第5回KBCC&TQFA会議
- ・2025年09月16日(火) 第6回KBCC&TQFA&HABB会議
- ・2025年11月14日(金) 第7回KBCC&TQFA&HABB会議

■地方機能性食品日台協力会議

- ・2026年01月21日(水) 第1回KBCC&TQFA&HABB会議
- ・2026年03月23日(月) 第2回KBCC&TQFA&HABB会議
- ・2026年05月18日(火) 第3回KBCC&TQFA&HABB会議

参加者：KBCC事務局

HABB (北海道バイオ工業、三浦事務局長)

TQFA (台湾優良食品発展協会)

熊本県商工労働部産業振興部

株式会社ブライトインターナショナル様

内容：2ヶ月に1回のホスト役KBCC→HABB→TQFA持ち回りで開催  
TQFA一番の関心は機能性表示食品に関する事で、台湾での民間認証  
制度の確立(台湾衛生局も関与)。

第6回会議より北海道バイオ工業も参加。

結果：HABBが主体として活動する「食品機能性連絡会(北海道・新潟・四  
国・九州・沖縄が参加)」にも会の情報を共有する事となり、熊本・九  
州と言う枠に捕らわれる事無く広域でのパートナーシップ構築に結びつけ  
ることができた。

2026年度下記の活動案について調整を行っている。

- ① 6月22日(月) 台湾での「地方機能性食品日台協力会議」
- ② 6月23日(火) 台湾でのセミナー&商談会開催
- ③ 6月24~27日 FOOD TAIPEI
- ④ 7月19~25日 台湾訪日(北海道)ビジネス連携
- ⑤ 9月14~19日 台湾訪日(沖縄)ビジネス連会

【評価(計画と比較した目標の達成度)、分析(実施した結果新たに生じた課題、数値の検証等)】※計画より進捗が遅れている場合は、その理由も記載してください。

評価

●改良商品をテストマーケティングした事業者の支援件数：

10件/年

●令和7年度終了後：

①輸出課題解決支援計画の策定件数 1件

※添付5 TQFおよび会員企業来日後の課題解決に向けて  
-大麦市場の台湾展開調査支援と醤油市場連携可能性の検討-  
-台湾市場展開に向けた市場調査及び販売戦略- 参照

②輸出課題の解決率70%以上件数 5件

●将来の支援目標：

本事業の成果を受けて創出された「輸出課題解決を継続してでき、能動的に台湾市場を目指して商品開発及び販路開拓を行う熊本県企業」への将来の支援目標は以下である。

・課題解決支援計画に基づく支援により商談した件数 5件/年

目標計画に対する達成度はすべて100%である。

【今後の進め方（波及効果を含めて）をどうするのか】

台湾優良食品協会（TQFA）との交流が活発化しているため、今後事業提携等を通じて、相互協力による販路の拡大を図る。TQFAの来熊は今後も定期的に行われる可能性が高い。熊本の企業にも交流のメリットが見込めるため、2ヶ月に1回開催の「地方機能性食品日台協力会議」「台湾&アジア出展希望者による意見交換会（KBCC会員との会議）」での情報交換を密に行いブラッシュアップし精度を高めていく。また台湾企業が機能性表示食品制度に高い興味を示している事に対して、崇城大学、北海道バイオ工業との連携により対応しお互いメリットのある交流事業を引き続き継続して行く。

注1）上記項目について詳細に記載してください。

注2）成果（結果）の内容について、別途、お伺いすることがあります。

注3）成果物（報告書・アンケート集計物・DVD等）、記録用写真等があれば提出してください。